

press release

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2017年9月26日
PRESS-17-28

2 型糖尿病と心・脳血管疾患リスクに関する患者さんと家族の意識調査

2 型糖尿病と心・脳血管疾患発症リスクとの関係を認識することが 心・脳血管疾患の発症・再発予防への取り組みにつながる

ノボ ノルディスクファーマ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 オーレ ムルスコウ ベック)は、地球規模の心臓血管病予防キャンペーン(9月29日のワールド・ハート・デー¹)にちなみ、2 型糖尿病患者さんと近親者を対象に、2 型糖尿病と心・脳血管疾患リスクとの関係性についての認識や心・脳血管疾患発症後の気持ちについて探ることを目的に、インターネット調査を実施しました。調査の対象者は、過去に心・脳血管疾患を発症した経験のある60代以上の2 型糖尿病患者さん男女104人および近親者に2 型糖尿病で心・脳血管疾患を発症した経験のある患者さん(亡くなった方含む)がいる30-50代の男女106人です。

社長で医師でもあるオーレ ムルスコウ ベックは次のように述べています。「今回の調査によって、2 型糖尿病患者さんやご家族が発症してしまうかもしれない糖尿病の合併症についての認識が十分でないことが把握できました。また、心・脳血管疾患を発症した方々が、再発や後遺症、また経済的な負担の可能性について不安を抱いていることも示唆されました」

2 型糖尿病は進行する疾患で、早期の段階では顕著な自覚症状がありません。患者さんが症状に気づくころには、糖尿病の合併症である細小血管障害をすでに発症していることが多くいわゆる「サイレント・キラー」と呼ばれています。

現在、日本における心筋梗塞などの心疾患や脳卒中・脳出血などの脳血管疾患を合わせた心・脳血管疾患は、がんに次いで死因の第2位となっています²。心・脳血管疾患は突然死を招いたり、深刻な後遺症が残ったりする場合もあり、個人的にも社会的にも負担が大きいのが現状です。また、高齢化に伴い脳卒中と循環器病による死亡数が増加し、75歳以上の後期高齢者では脳卒中と循環器病による死亡数が、がんによる死亡数を上回っています³。糖尿病があると、糖尿病でない人と比較して心・脳血管疾患の発症リスクが高くなります^{4,5}。また、糖尿病のある人が、心・脳血管疾患により死亡するリスクは、糖尿病でない人の1.8倍から2.5倍高まるといわれています⁶。

主な調査結果は以下の通りです。

- 心・脳血管疾患を発症した2 型糖尿病患者さんの2~3人に1人が、発症前には狭心症、心筋梗塞、虚血性心不全、脳梗塞といった心・脳血管疾患が、起こるかもしれない糖尿病の合併症だと認識していない

この調査に参加された、心・脳血管疾患を発症した2 型糖尿病患者さんが、発症前には糖尿病の合併症だと認識していなかったものは、多い順に狭心症(43%)、白内障(41%)、心筋梗塞(39%)、虚血性心不全(32%)、脳梗塞(31%)でした。また、いわゆる三大合併症である糖尿病性網膜症、腎症、神経障害を糖尿病の合併症だと知らなかった割合は、それぞれ18%、24%、27%でした。

- 心・脳血管疾患を発症した2 型糖尿病患者さんの3人に1人が、発症時に合併症への注意不足を後悔し、これからの経済的な負担を心配した

心・脳血管疾患を発症した時の気持ちを尋ねたところ、33%の患者さんが「2 型糖尿病の合併症にもっと気を配るべきだったと後悔した」と回答し、31%が「経済的な負担を心配した」と回答しました。

■ **現在、心・脳血管疾患を発症した 2 型糖尿病患者さんの 3 人に 2 人が糖尿病の進行や心・脳血管疾患の再発を、3 人に 1 人が後遺症や経済的負担を不安に感じている**

糖尿病や心血管疾患について現在、不安に思っていることを尋ねたところ、62%の患者さんが「糖尿病の進行」、60%が「心血管疾患の再発」、39%が「心血管疾患による後遺症による日常生活の不便」、37%が「経済的負担」と回答しました。

■ **2 型糖尿病が心・脳血管疾患の死亡リスクを約 2 倍高めることを認識していなかった患者さんの 4 人に 3 人は、そのことを知っていれば何らかの対策を行いたかったと感じている**

2 型糖尿病が心・脳血管疾患の死亡リスクを約 2 倍高めることを認識していなかった患者さんに、もし知っていたら、心・脳血管疾患発症前にしておきたかったことは何かを尋ねたところ、76%の患者さんが、「食生活の改善」「日々の運動」「禁煙」「早めに専門医の治療を受ける」「2 型糖尿病の合併症について調べる・学ぶ」など、何らかの対策を行いたかったと回答しました。

■ **2 型糖尿病が心・脳血管疾患の死亡リスクを約 2 倍高めることを認識している患者さんは、再発予防のための対策を講じている**

2 型糖尿病が心・脳血管疾患の死亡リスクを約 2 倍高めることを認識している患者さんに、心・脳血管疾患の発症・再発予防のために行っていることを尋ねたところ、「何も行っていない」と回答した患者さんはいませんでした。行っている対策としては、「心血管疾患リスクを高めないための薬を服用」(80%)が最も多く、次に「食生活に注意している」(75%)、「禁煙している」(51%)が続きました。また、患者さんの 65%は、「突然死・発作リスクを低減する治療法・治療薬」を使いたいと回答しました。

社長のオーレ ムルスコウ ベックは次のように述べています。「2 型糖尿病の場合、血糖コントロールと心臓と脳の健康に気をつけることが重要であることは多くの科学的なエビデンスがあります。2 型糖尿病の方は、心・脳血管疾患と 2 型糖尿病の両方に気をつけることが重要です。ノボ ノルディスクが、世界で展開する“The Heart—糖尿病患者さんの心・脳血管疾患リスクに向き合おう—生命にかかわる心筋梗塞や脳梗塞と糖尿病との関係”キャンペーンを通じて、より多くの 2 型糖尿病患者さんが前向きに生活習慣の改善に取り組み、主治医に指示された治療に従いながら、病気による負担感を減らせるよう、支援していきたいと思ひます」

1. 世界心臓連合(World Heart Federation)は、2000 年より「世界ハートの日」を 9 月最終日曜日に定め、2011 年から、9 月 29 日を「世界ハートの日」と決めました。
2. 2015 Demographic Statistics, MHLW
3. The group requesting for enactment of Basic Act on Stroke/Circulation Statement to support “January 20, 2017, The Japanese Circulation Society
4. Tanaka S, Tanaka S, Iimuro S, Yamashita H, Katayama S, Ohashi Y, Akanuma Y, Yamada N, Sone H. Cohort Profile: The Japan Diabetes Complications Study: A long-term follow-up of a randomised lifestyle intervention study of type 2 diabetes. Int J Epidemiol 2014, 43: 1054-1062. Doi: 10.1093/ije/dyt057
5. Fujishima M, Kiyohara Y, Kato I, Ohmura T, Iwamoto H, Nakayama K, Ohmori S, Yoshitake T. Diabetes and Cardiovascular Disease in a Prospective Population Survey in Japan: The Hisayama Study. Diabetes 1996, 7, 45(3): S14-6.
6. Kato M. et al. Diagnosed diabetes and premature death among middle-age Japanese: results from a large-scale population-based cohort study in Japan. BMJ Open 2015, 5, e007736, doi:10.1136/bmjopen-2015-007736.

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社は、デンマークに本社を置くグローバルヘルスケア企業であるノボ ノルディスク社の日本法人です。ノボ ノルディスク社はインスリンの発見から間もない 1923 年にインスリンの製造販売を開始し、以来 90 年以上にわたり糖尿病治療に必要な革新的な医薬品やデリバリーシステムの開発を通じ糖尿病ケアの革新をリードしてきました。また、糖尿病に加え、成長ホルモン療法および血友病においても、それぞれの製品領域をリードしています。ノボ ノルディスク社は現在 77 カ国に約 4 万 1,400 人の社員を擁し、製品は 165 カ国以上で販売されています。日本法人は 1980 年に設立され、それぞれの製品領域をリードしています。

<別紙>【2 型糖尿病と心・脳血管疾患との関係に関する患者さんと家族の意識調査】

調査概要

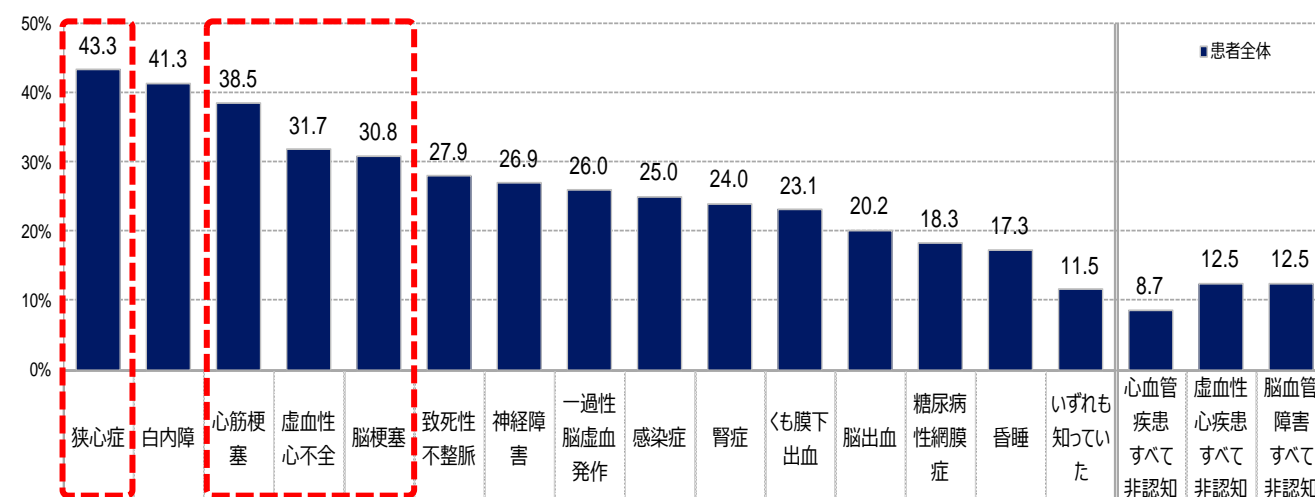
	患者調査	家族調査
対象	過去に心・脳血管疾患を発症した経験のある60代以上の2型糖尿病患者さん男女104人 * 93人が心血管疾患(狭心症、心筋梗塞、虚血性心不全、致死性不整脈のいずれか)、45人が脳血管疾患(脳梗塞、くも膜下出血、脳出血、一過性脳虚血発作のいずれか)の発症経験あり(重複回答34人)	近親者に2型糖尿病で心・脳血管疾患を発症した経験のある患者さん(亡くなった方含む)がいる30-50代の男女106人
地域	全国	全国
実施時期	2017年9月4日~7日	2017年8月24日~28日
手法	インターネット調査	
調査実施会社	株式会社マクロミル	

調査結果

認識不足

心・脳血管疾患を発症した2型糖尿病患者さんの2~3人に1人が、発症前には狭心症、心筋梗塞、虚血性心不全、脳梗塞といった心・脳血管疾患が、起こるかもしれない糖尿病の合併症だと認識していない

Q: 心血管疾患を発症する前には、2型糖尿病の合併症だと知らなかったものを、以下の中からお選びください。
回答対象: 過去に心・脳血管疾患を発症した経験のある60代以上の2型糖尿病患者さん男女104人

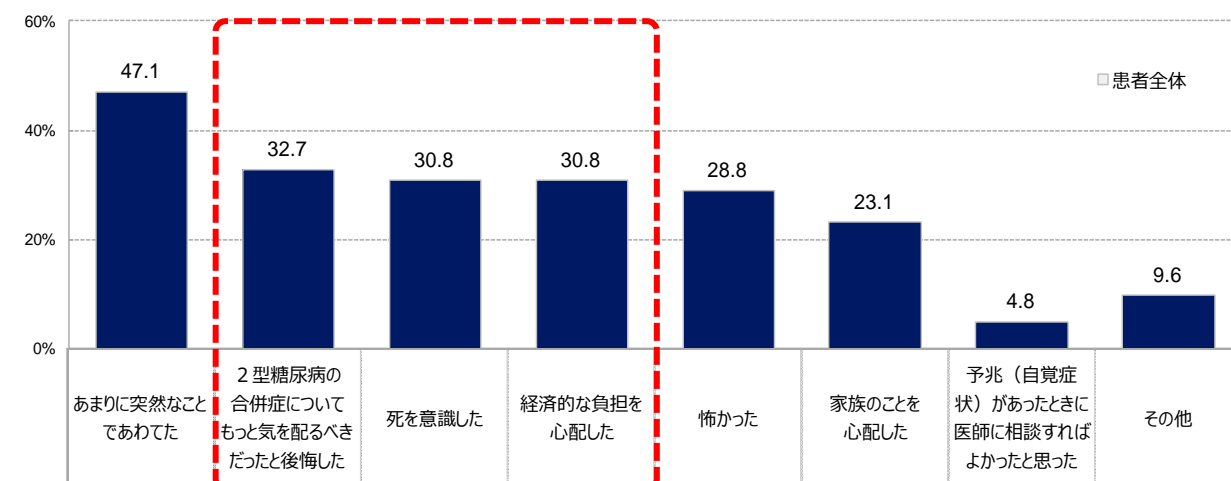


不安が示唆される回答

心・脳血管疾患発症時に、2型糖尿病患者さんの3人に1人が、合併症への注意不足を後悔し、これからの経済的な負担を心配した

Q: あてはまるものを全て選択ください。心血管疾患を発症した時のお気持ちとして、あてはまるものを全てお選びください。

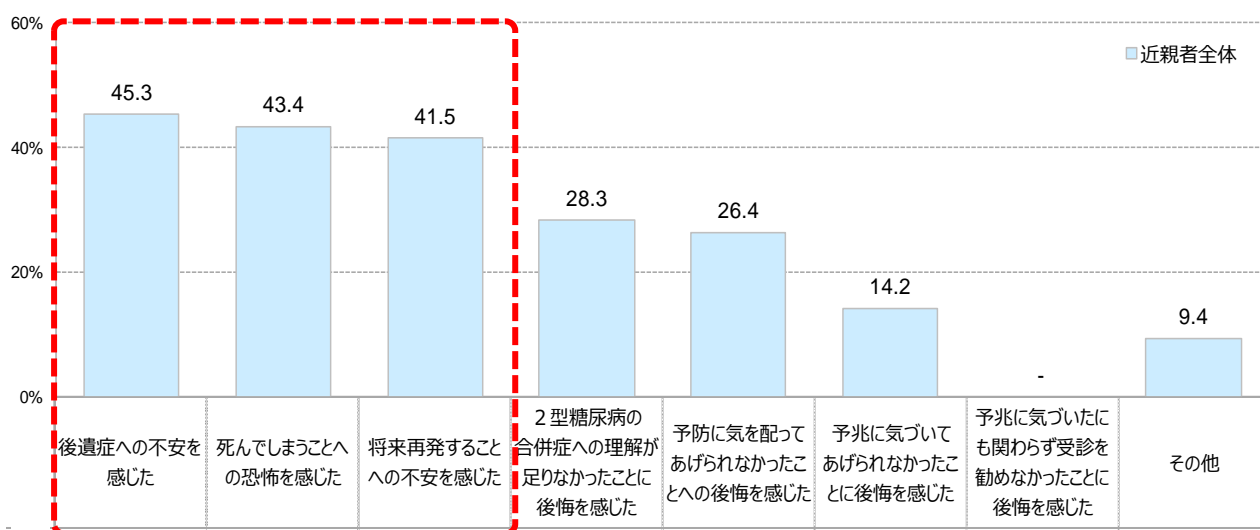
回答対象: 過去に心・脳血管疾患を発症した経験のある60代以上の2型糖尿病患者さん男女104人



発症時に、家族・親戚の2人に1人が、家族の死への恐怖、後遺症や将来の再発などの不安を感じた

Q: あてはまるものを全て選択ください。家族・親戚が心血管疾患の症状を発症されたときの、あなたのお気持ちについて、あてはまるものを全てお選びください。

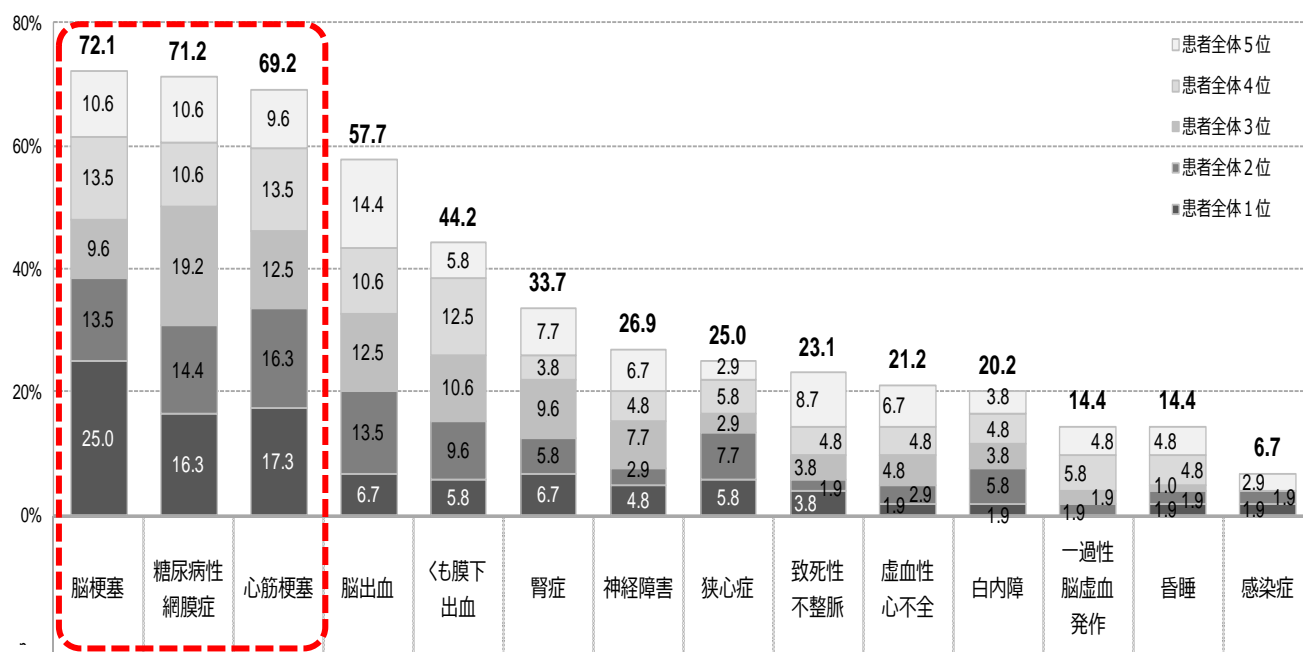
回答対象: 家族または近親者に2型糖尿病で心・脳血管疾患を発症した経験のある患者さん(亡くなった方含む)がいる30-50代の男女106人



**心・脳血管疾患を発症した2型糖尿病患者さんの7割が、「脳梗塞」「糖尿病性網膜症」「心筋梗塞」が怖いと回答
再発や後遺症への不安が高いと推測される**

Q: 5位まで回答ください。以下の2型糖尿病の合併症の中で、現在、あなたが怖いと感じるものから順番に順位をつけてください。※あてはまるものがない方もこの中から比較してお選びください。

回答対象: 過去に心・脳血管疾患を発症した経験のある60代以上の2型糖尿病患者さん男女104人

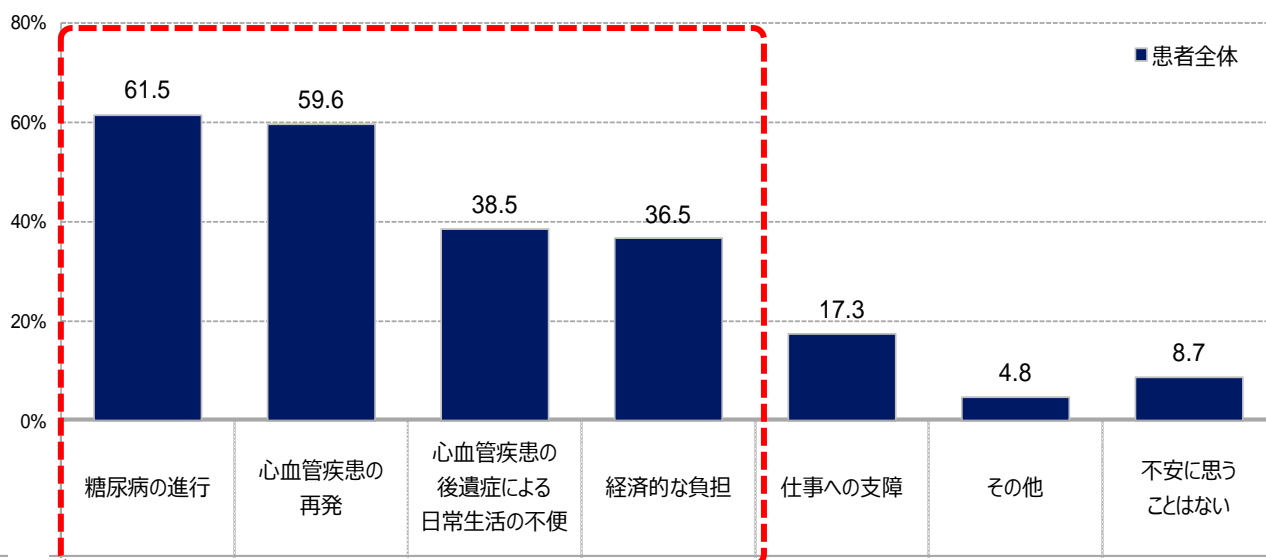


心・脳血管疾患を最も怖いと感じる理由: 自由回答

- 死に直結するから(63歳男性)
- 一瞬で逝ってしまうかもしれない(61歳男性)
- 血管の疲弊で脳内出血や、プラークによる脳梗塞は突然発症し、死に至る恐れが大きいため(71歳男性)
- いつ、発作が起きて苦しくなるか、死に近いと思うから(60歳女性)
- 突然の心臓の苦しさ(62歳女性)
- 今度は助からないような気がする(67歳女性)

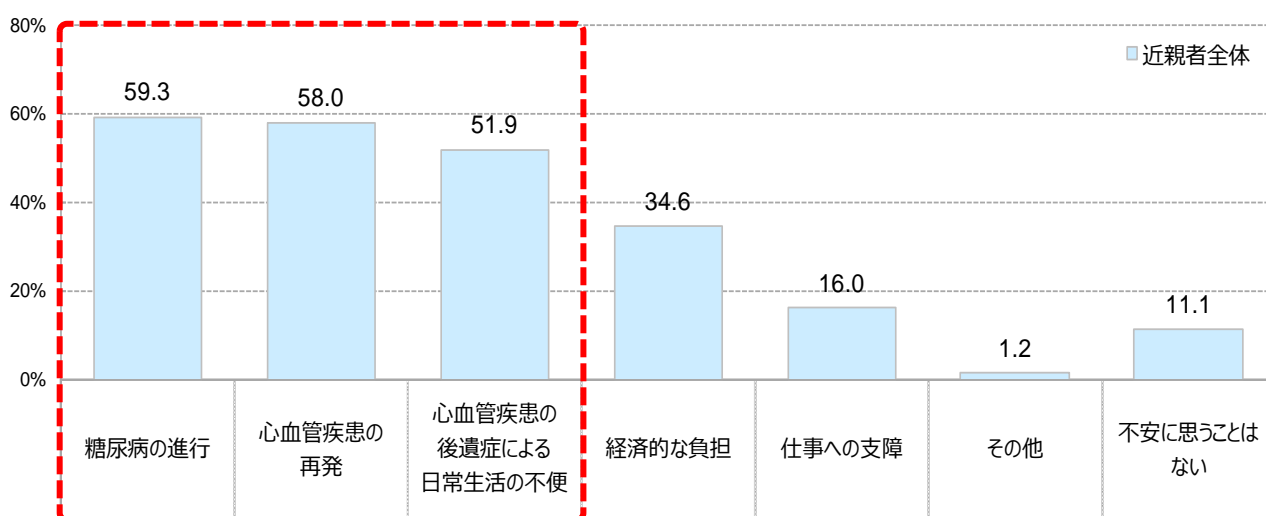
現在、心・脳血管疾患を発症した2型糖尿病患者さんの3人に2人が糖尿病の進行や心・脳血管疾患の再発を、3人に1人が後遺症や経済的負担を不安に感じている

Q: あてはまるものを全て選択ください。現在、糖尿病や心血管疾患について不安に思っていることは何ですか？
 回答対象: 過去に心・脳血管疾患を発症した経験のある60代以上の2型糖尿病患者さん男女104人



現在、家族・親戚の2人に1人が、糖尿病の進行や心・脳血管疾患の再発、後遺症に不安を感じている

Q: あてはまるものを全て選択ください。現在、家族・親戚の糖尿病や心血管疾患について、不安に思っていることは何ですか？
 回答対象: 家族・親戚に2型糖尿病で心・脳血管疾患を発症した経験のある患者さん(亡くなった方含む)がいる30-50代の男女のうち、当該近親者をご存命の81人

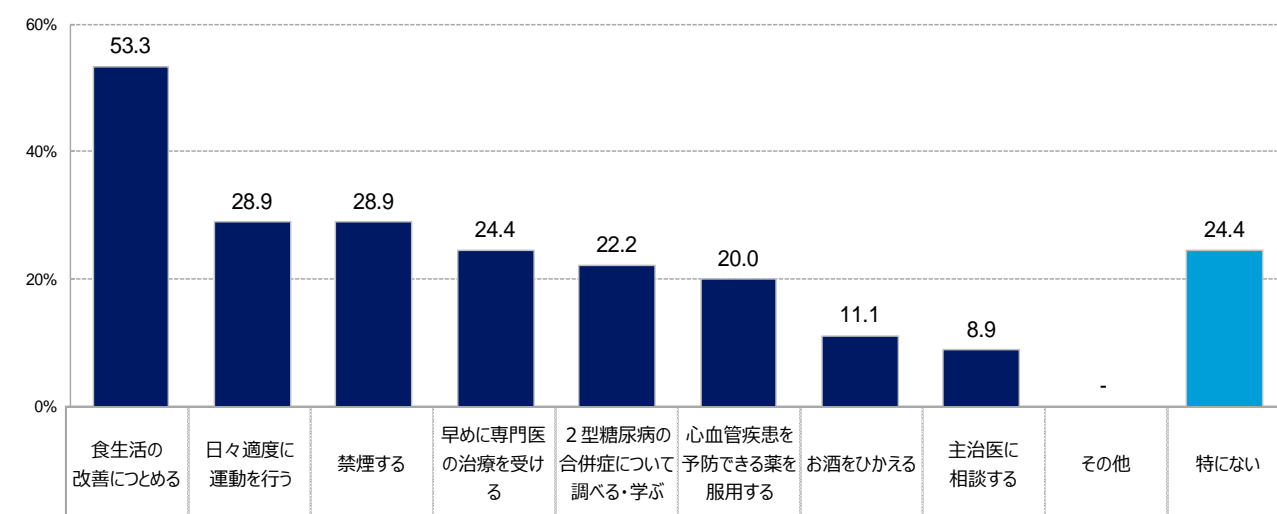


後悔が示唆される回答

2 型糖尿病が心・脳血管疾患の死亡リスクを約 2 倍高めることを認識していなかった患者さんの 4 人に 3 人は、そのことを知っていれば何らかの対策を行いたかったと感じている

Q: あてはまるものを全て選択ください。「日本の 2 型糖尿病の人は、そうでない人に比べて、心血管疾患の死亡リスクが 1.8~2.5 倍ほど高い」ことを知らなかった方にお聞きます。もしこのことを知っていたら、心血管疾患が発症する前にしておきたかったことはありますか？

回答対象: 過去に心・脳血管疾患を発症した経験のある 60 代以上の 2 型糖尿病患者さんのうち、「日本の 2 型糖尿病の人は、そうでない人に比べて、心血管疾患の死亡リスクが 1.8~2.5 倍ほど高い*」ことを認識していなかった人 45 人

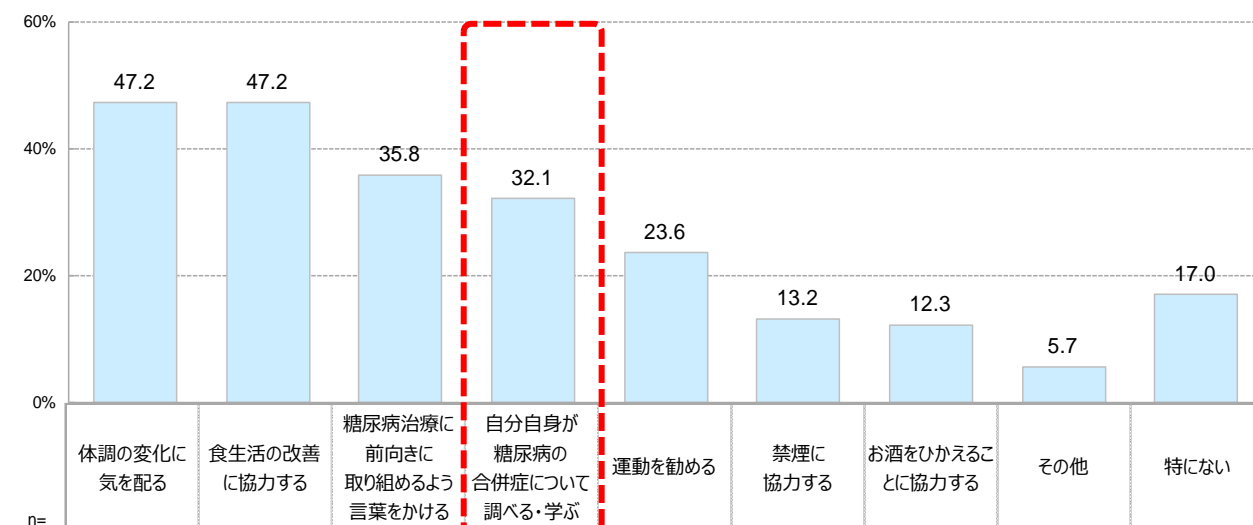


*参考文献では、当該試験の対象となった糖尿病患者さんの大半が 2 型糖尿病であろうと推察されていることから、本インターネット調査では 2 型糖尿病として尋ねています。

家族・親戚の 3 人に 1 人が、
発症前に「合併症についてもっと調べたり学んだりしておけばよかった」と思っている

Q: あてはまるものを全て選択ください。今から考えると、家族・親戚のために、心血管疾患の発症前に何をしてあげればよかったと思いますか？ あてはまるものをお選びください。

回答対象: 家族・親戚に 2 型糖尿病で心・脳血管疾患を発症した経験のある患者さん(亡くなった方含む)がいる 30-50 代の男女 106 人

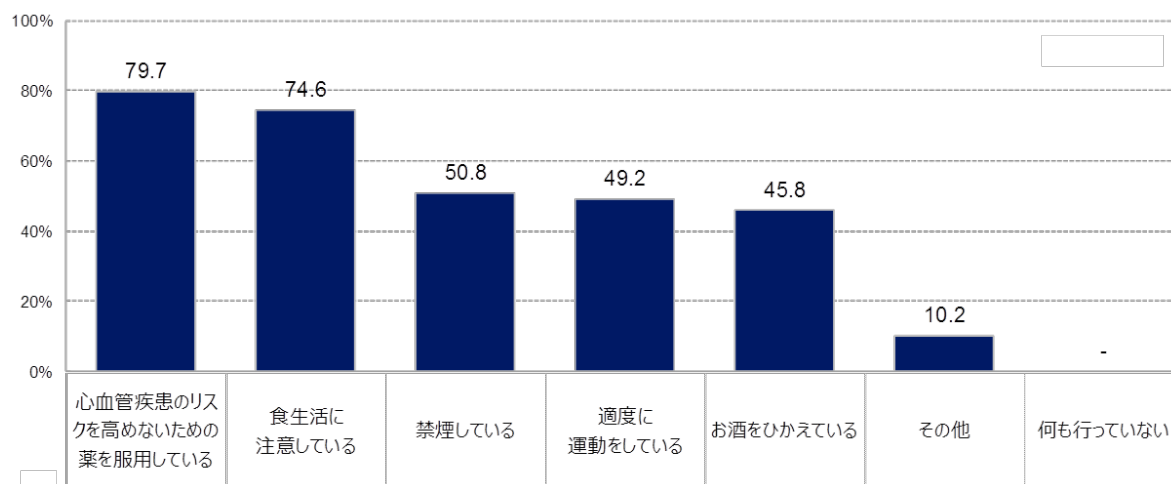


再発予防

2 型糖尿病が心・脳血管疾患の死亡リスクを約 2 倍高めることを知っている 2 型糖尿病患者さん全員が再発予防のため何らかの対策を講じている

Q: いくつでも選択ください。「日本の 2 型糖尿病の人は、そうでない人に比べて、心血管疾患の死亡リスクが 1.8 ~ 2.5 倍ほど高い」ことをご存知の方にお聞きします。心血管疾患の発症・再発の予防のためにに行っていることをお選びください。

回答対象: 過去に心・脳血管疾患を発症した経験のある 60 代以上の 2 型糖尿病患者さんのうち、「日本の 2 型糖尿病の人は、そうでない人に比べて、心血管疾患の死亡リスクが 1.8~2.5 倍ほど高い」ことを認識している人 59 人



心・脳血管疾患による心境の変化(自由回答)

Q: 具体的に回答ください。心血管疾患を経験されたことをきっかけに、心境の変化はありましたか？
あれば、どのような変化があったのかお答えください。 * 患者ベース

健康に気をつけるようになった

- 2ヶ月毎に通院をしていて、絶えず健康に気をつけるようになった。【男性・67歳・心筋梗塞/脳梗塞】
- 血糖値、血圧、ヘモグロビンA1C値など、数値をきちんと基準値以下に保つこと。【男性・68歳・心筋梗塞】
- 体調管理に慎重。【男性・69歳・心筋梗塞】
- 健康のありがたさ。【男性・70歳・心筋梗塞/脳梗塞】
- 健康に気を付けるようになった。家族に感謝です。今まで以上に、一日一日を大切にしようと思う。【女性・65歳・脳梗塞/白内障】

死を感じるようになった

- 残りの短い人生のことを常に意識し始めた。【男性・61歳・虚血性心不全/脳出血/脳梗塞】
- 死について深く考えるようになった。【男性・67歳・心筋梗塞】
- 死をきわめて身近に意識するようになった。そのため、早朝、写経をするようになって一日も欠かすことなく今年で6年目になった。【男性・72歳・心筋梗塞】
- 死ぬ覚悟が出来た。【男性・81歳・狭心症/糖尿病性網膜症/白内障】

治療第一

- 治療について気をつけています。【男性・67歳・脳梗塞/糖尿病性網膜症】
- 定期的な検査の実施で状況を主治医と共有する事がとても大切だと感じています。【男性・71歳・狭心症】
- 何か異常を感じたらすぐ医者にかかる。【男性・73歳・脳出血】

諦めの心境

- 母も亡くなり、自分ももういいかなと思うようになった。【男性・67歳・心筋梗塞】

心・脳血管疾患を発症した 2 型糖尿病患者さんのおよそ 3 人に 2 人が、
「突然死・発作リスクを低減する治療法・治療薬」を使用したいと思っている

Q: 1 つだけ選択ください。突然死や発作のリスクを低める治療法・治療薬があるとしたら、使用したいと思いませんか。

回答対象: 過去に心・脳血管疾患を発症した経験のある 60 代以上の 2 型糖尿病患者さん男女 104 人

